

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】 令和4年7月28日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 松井 義隆	
環境-23	名越クリーンセンター収集事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境センター
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	ごみ減量対策課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉、腰越及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業を行った。 ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。 清掃車両の整備及び管理を行った。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	ごみ収集運搬事業 (鎌倉、腰越、深沢(一部を除く))	粗大ごみ等の収集及び運搬事業	収集申込に対し2週間以内に収集をする(%)	100 / 19,897	100 / 21,258	100% / 29,428	100.0%
02	収集・分別・資源化指導啓発事務	市民及び事業者への適正分別の指導等	各地域週1回以上のクリーンステーション巡回を実施する(%)	100 / 243	100 / 245	100% / 246	100.0%
03	清掃車両整備・管理事務	収集車両修繕料など	車両整備により、計画通り稼働した車両の割合(%)	100 / 3,685	100 / 6,393	100% / 4,333	100.0%
04				/	/	/	
05				/	/	/	
06				/	/	/	
07				/	/	/	
08				/	/	/	
09				/	/	/	
10				/	/	/	
		財源内訳	国県支出金	/	/	/	
			地方債	/	2,850	2,800	
			その他特定財源	/	/	1,485	
			一般財源	23,825 /	25,046	29,722	
			事業費の合計(千円)		23,825 / 27,896	34,007	
			人件費(千円)		264,028	246,540	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	37.3	34.8	31.4			
会計年度任用職員	0.0	0.0	4.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	ごみ収集運搬事業 (鎌倉、腰越、深沢(一部を除く))	粗大ごみ等収集を計画的に実施し、ごみの適切な収集に繋げ目標を達成した。	ごみの適切な処理体制の構築に資している。	本事業を担う技能労務職について、退職者不補充に応じた収集体制の維持構築が課題である。
02	収集・分別・資源化指導啓発事務	クリーンステーションへの定期的な巡回を行い、不適正排出を抑制し目標を達成した。	ごみの適切な処理体制の構築に資している。	利用する住民によってクリーンステーションは維持管理されている。巡回を通じて、クリーンステーション方式の安定運用を図っていく。
03	清掃車両整備・管理事務	ごみの収集には車両稼働が必須であることから、計画的に車両を整備し目標を達成した。	ごみの適切な処理体制の構築に資している。	予防保全型の修繕等を実施していくことで、車両故障の未然防止に努める。
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2 適正な受益者負担を導入している
	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 自治町内会及び廃棄物減量化等推進員

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
技能労務職の退職者不補充及び令和6年度(2024年度)末の名越クリーンセンター焼却停止を踏まえ、効率的な収集体制を検討し構築していく。	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--